

世界の

森のおはなし

世界「子供の森」探検ツアー

世界の森のお話～世界「子供の森」探検ツアー～は、世界中の子どもたちが自分たちの、そして他の国の「森」や「環境」について考えるきっかけを楽しく簡単につくれる「かみしばい」です。

このお話は、国際協力NGOオイスカ（※1）が、世界各地の子どもたちの植林活動や環境教育活動を支援する「子供の森」計画（※2）を通じて、子どもたちの意見を集め、それを元に「動物かんきょう会議」（※3）と協力して、作成したものです。

森のこと、環境のこと、そして今できることを、世界の仲間たちと一緒に考えていきませんか？

●世界の森のおはなし ～さあ、世界の森を見に行こう！～

日本からタヌキ、タイからニシキヘビ、インドネシアからカブトムシ、そしてフィジーからサンゴなど。いろいろな国から、たくさんの種類の動物や生き物たちが集まってそれぞれ国の自然や文化、そして森のことを紹介します。

●タイの森のおはなし

ニシキヘビのブアカオは、世界中からやってきた仲間たちと山へピクニックに出かけました。するとモクモクと煙が…。自然や森との共生について考えます。

●インドネシアの森のおはなし

カブトムシのシボランは、みんなと田植えの真最中。壊れて暴走する田植え機に引っ張られ、ジャンブルに入ったみんなが見たものは…。生物多様性豊かな森の恵みと近年の変化について考えます。

●フィジーの森のおはなし

サンゴのダクワカは自慢のフィジーの海にみんなを招待。マングローブやカクレマンノミなど素敵な仲間たちを紹介していきます。しかし、その海には暗い影が…。海と森のつながり、循環する自然について考えます。



※1※2 オイスカと「子供の森」計画：「子供の森」計画はオイスカが世界各地で推進している子どもたちの植林活動及び環境教育の支援プログラムです。1991年より開始し、現在までに33の国と地域で4,600以上の学校が参加しています。オイスカは、国連経済社会理事会の諮問資格を持つ国際協力NGOで、1961年の設立以来、アジア太平洋地域の開発途上国を中心として農林業開発協力、環境保全活動、人材育成を推進しています。http://www.oisca.org/

※3動物かんきょう会議とは：子どもたちが「環境問題と異文化に興味をもち、自ら考え、行動する人間になってほしい」と願いをこめて、1997年にはじまったプロジェクトです。世界のさまざまな地域から集まった動物たちが、身近な「かんきょう問題」をテーマに会議をくりひろげるお話を展開しています。絵本とアニメーション（NHK教育TVで放映）があります。http://animalconference.com

「かみしばい」ダウンロード

<http://animalconference.com/oisca/world/>



上記4話がダウンロードできます。自動再生モードや「かみしばい」をつかったワークショップ事例など活用のヒントも掲載しています。

この教材は、平成25年度子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成金の交付を受けて作成しています。

作成：公益財団法人オイスカ
〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5
TEL：03-3322-5161 FAX：03-3324-7111
E-mail:oisca@oisca.org